

# 第3章 重要政策「人づくり」





高岡御車山祭

# 重要政策「人づくり」



## I 重要政策「人づくり」の位置づけ

この計画では、富山県の目指すべき将来像の実現に向け、「活力とやま」「未来とやま」「安心とやま」の3つの柱のもとに60の基本政策及び政策目標を体系化しますが、これらの政策及び目標は、最終的には、それぞれ「人」により実施され、達成されるものです。

したがって、目指すべき将来像の実現に当たっては、各分野を支え、牽引する人材の存在が、極めて重要となります。

このため、この計画においては、様々な分野において本県の発展を担う「人」が「育ち」、「集い」、「活躍する」ことが元気な県づくりにとって最も大切であるとの観点から、「人づくり」を「活力とやま」「未来とやま」「安心とやま」の基本政策を支える重要政策として位置づけます。

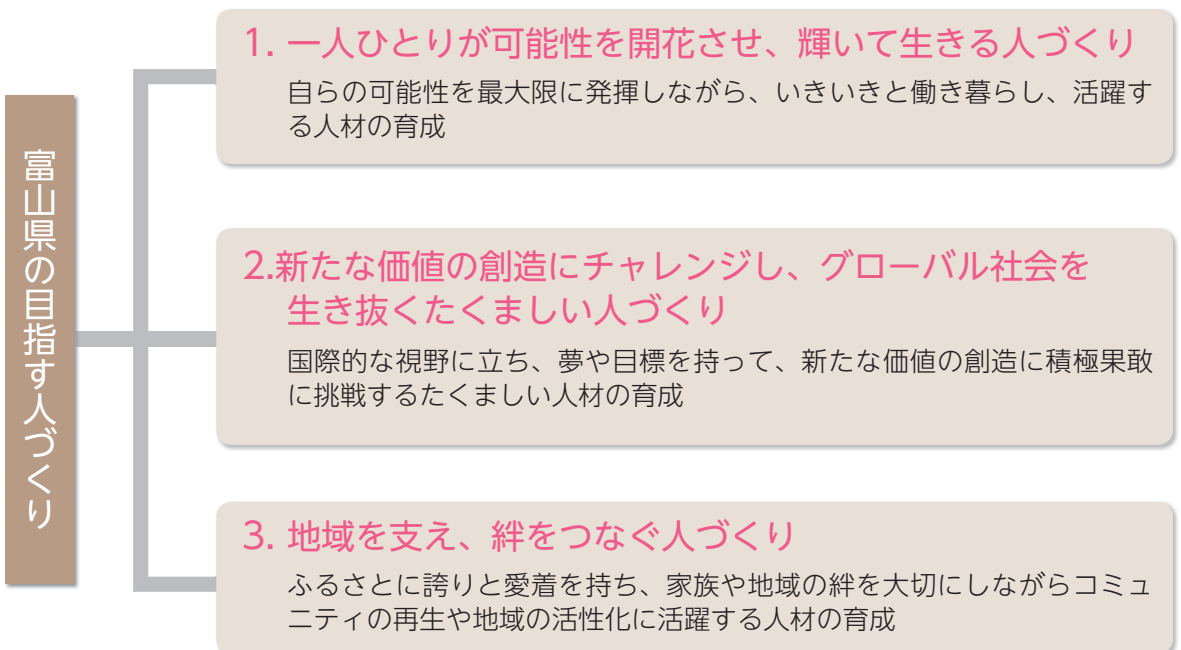


## II 富山県の目指す人づくり

近年、本県を取り巻く社会状況は大きく変化しています。世界では、グローバル化の進展に伴い、ヒト・モノ・カネがボーダーレスに流動する状況が急速に進み、国際競争も激化しています。

国内においても、産業構造や雇用環境が大きく変化する一方、人口減少・少子高齢化の進展による社会活力の低下、家庭や地域などにおける人間関係の希薄化などが懸念されています。

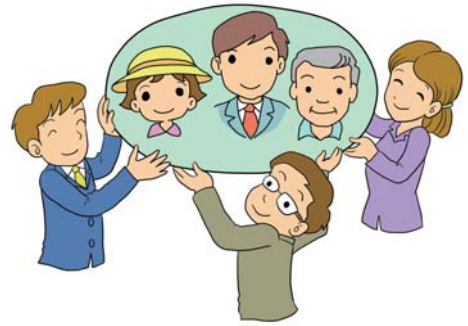
本県では、このような状況を踏まえて、次のような「人づくり」を目指します。



### Ⅲ ライフステージごとのテーマと取組み

本県の目指す「人づくり」を進めるに当たっては、子どもから大人まで、それぞれの成長段階に応じた継続的かつ体系的な取組みが必要です。

このため、県民のライフステージごとにテーマを設定し、それぞれの段階において必要な取組みを切れ目なく効果的に展開していきます。



## 1 子ども

### テーマ 将来を担う人材の基礎づくり

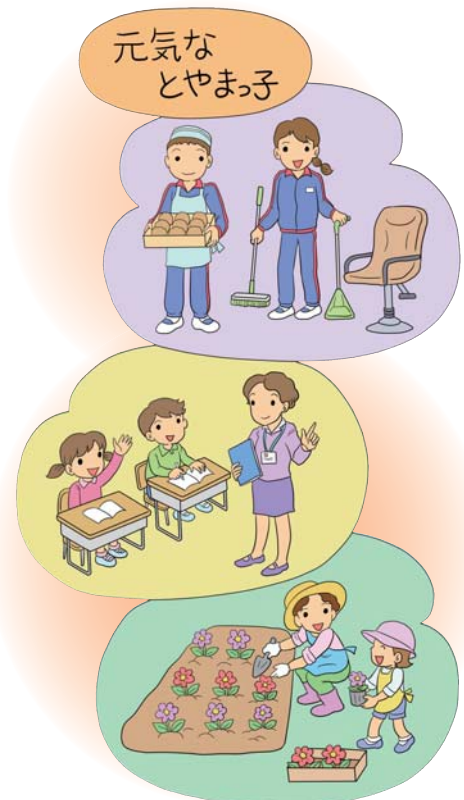
子どもたちが、知・徳・体のバランスのとれた人間として育つとともに、将来に夢や目標を持ち、未来を自ら切り拓き、世界を舞台に活躍できる若者、大人に成長するための確かな基礎を築きます。

#### (1) 優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成

基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、望ましい生活習慣や規範意識、公共心、感謝や思いやりの心、たくましく生きるための体力を身につけるための教育や体験活動を推進し、知・徳・体のバランスのとれた「元気なとやまっ子」を育みます。

#### 施策の展開

- 全国学力・学習状況調査等の結果の分析・活用や「とやま型学力向上プログラム」の充実並びに市町村の学力向上の取組みへの総合的な支援
- 児童生徒へのきめ細かな学習指導や生活指導を行うための少人数指導や少人数学級等による、少人数教育の推進
- 自尊感情を高め、よりよく生きようとする態度を培うなど、一人ひとりの子どもたちが生まれてよかったと実感できる、いのちの教育の推進
- 地域住民との交流活動や自然体験活動など、豊かな人間性と社会性を育てるための様々な体験活動への参加の促進
- 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」など、生活習慣や規範意識、社会に貢献する意欲・態度等の道徳性や社会性を育む教育の充実
- 基本的な生活習慣や運動習慣を身につけた元気なとやまっ子を育む運動の推進など



## (2) 変化する社会に果敢にチャレンジし、困難にくじけない子どもの育成

それぞれの子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育、言語能力、コミュニケーション能力の育成を重視する教育、視野を広げ社会性や感性、勤労観等を養う体験活動等を推進することによって、社会が激しく変化する中であっても、将来に夢や目標をしっかりと持って、困難にくじけず力強く未来を切り拓いていく、チャレンジ精神あふれる子どもを育てます。

### 施策の展開

- 体験的な学習や問題解決的な学習への取り組みによる、知識や技能を活用する力や、知的好奇心、探究心を育む教育の充実
- 自ら学び、考え、行動する力や豊かな人間関係をつくるためのコミュニケーション能力を育成する教育の充実
- 「とやま科学オリンピック」の開催や探究科学科における探究的な学習など、科学に対する関心を高め科学的才能を引き出して伸ばす教育の推進
- 職業観、勤労観を育てるためのインターンシップ、企業経営者等による講演など、キャリア教育の推進
- 芸術・スポーツなどの分野における優れた才能の発掘・育成  
など



## (3) ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にすることの育成

グローバル社会において、根無し草にならないよう、郷土の自然、歴史・文化等について理解を深め、ふるさとに誇りや愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にするとともに、将来、ふるさとにしっかりと軸足をおきながら、世界を舞台に活躍できる人材の基礎をつくります。

### 施策の展開

- 富山の歴史や先人の業績を学び、郷土への誇りと愛着、感動や感謝の心を育むふるさと学習の推進
- ふるさと富山を題材にした英語教材の活用など、日本や郷土の歴史・文化のよさを理解し、世界に向けて発信する力を育成する教育の充実
- 家庭や地域における、富山の豊かで厳しい自然と風土に育まれたふるさとの歴史や産業、くらしの特徴等を学び、理解を深める機会の充実
- 高志の国文学館こしくにの活用などによるふるさと文学を学ぶ機会の充実
- ふるさと富山をテーマとし世代を超えて一緒に歌うことができるふるさとの歌の制作・普及促進
- 伝統芸能や伝統文化を地域の子どもたちへ伝承する活動に対する支援  
など



## 2 若者

### テーマ 成長と自立、社会参加・社会貢献の促進

若者が自らの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばして、たくましく成長するとともに、職業的・社会的に自立し、自らの力で力強く人生を切り拓き、社会に積極的に関わろうとする態度を身につけることができるよう支援します。

#### (1) 若者がたくましく成長するための支援

様々な分野において、若者の可能性を引き出し、才能や個性を磨き、伸ばすことができる環境を提供することにより、本県の発展を担う人材としてたくましく成長することを支援します。

##### 施策の展開

- 高等学校や大学、職業能力開発施設等におけるインターンシップの実施など、職業意識の早期形成を目指したキャリア教育の推進
- 県立大学における少人数教育、学部・大学院を通じた体系的な教育体制の確立、学生の自立を促すキャリア教育の充実など、企業社会に有為な人材を輩出する教育研究の推進
- 医療、福祉などの分野における修学資金貸与制度の活用等による人材育成
- 芸術やスポーツの分野において国際的な活躍を目指す活動の支援
- 結婚や家庭を持つことの意義等の啓発や結婚を希望する男女の出会いの場の提供、コミュニケーション能力の向上支援など、出会いのサポートの充実
- 県内高等教育機関の学生の海外留学の促進と海外からの優秀な留学生の受入れ拡大など

#### (2) 若者の職業的自立の支援

就業に必要な知識・技能の習得や起業へのチャレンジを支援することなどにより、若者が職業的に自立し、職場や地域社会において、いきいきと活躍できるよう支援します。

##### 施策の展開

- 富山県若者就業支援センター、若者サポートステーションを中心とした若者の就業、自立を総合的に支援する体制の強化
- 実践的な職業訓練や離転職者のニーズに応じた多様な職業訓練の機会の提供
- 「とやま起業未来塾」等による若者の起業支援、若手技能者“やる気”塾など、若年労働者に対する意欲向上の喚起や基礎的能力習得の支援
- 農林水産業の若い新規就業者の確保と育成支援
- 製造業、商業、観光業など、幅広い分野における若手人材の育成支援
- 医療、福祉などの分野における若手人材の育成支援など



### (3) 若者の社会の一員としての自立の促進

若者が、地域づくり活動への参画やボランティア活動など、積極的に社会参加・社会貢献をしようとする態度を身につけることができるよう支援します。

#### 施策の展開

- ボランティア・NPO大会や研修会等を通じた高校生、大学生等のボランティア意識の向上とボランティア・NPO活動、地域行事活動への参加促進
- 若者の地域コミュニティ活動への参加促進と活動の中核となる人材の育成
- 若者が地域づくりやふるさとの魅力発見等にチャレンジする事業の実施に対する支援
- 消防団や防犯パトロール隊など、地域の防災活動、防犯活動等への若者の参加促進
- スポーツ、自然保護・環境保全、生涯学習、ふるさと学習など、幅広い分野における若手リーダーの育成  
など

## 3 働き盛り

### テーマ / 能力を発揮できる環境づくり

働き盛りの人々が職場や家庭、地域の中心となって、持てる能力を最大限に発揮できる環境づくりを進めます。

#### (1) 経済・産業の発展を支える人材が能力を発揮できる環境づくり

様々な分野にあって本県の経済・産業の発展を中心となって支える人材が、その能力を最大限に発揮できる環境づくりに努めます。

また、企業や関係団体と連携して、働く人一人ひとりが、キャリアアップを図りながら、産業構造のダイナミックな変化にも対応できる能力を身につけることを支援します。

#### 施策の展開

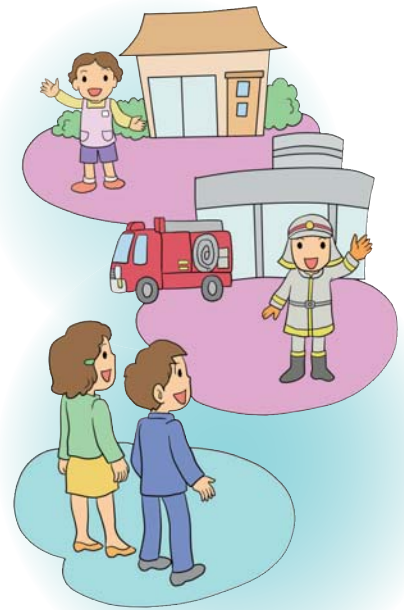
- 「とやま起業未来塾」の実践的なカリキュラムやバックアップ体制の強化による起業家の育成
- 最先端技術の研修など、ものづくり研究開発センターの最先端設備を活用した高度なものづくり人材の育成
- 高等教育機関が行う社会人を対象とした公開講座や高度かつ専門的な教育の充実
- 農林水産業における担い手育成の支援
- 企業ニーズに応じたオーダーメイド型訓練の実施や企業での実習を組み合わせた実践的な職業訓練の推進  
など

## (2) コミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育つ環境づくり

教育や子育て、まちづくり、介護や福祉、防災や防犯など、身近な分野でコミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育つ環境づくりに取り組みます。

### 施策の展開

- 入門からリーダー育成までの体系的な研修や分野毎の専門研修の実施など、ボランティアの人材育成
  - 福祉職場説明会の開催や福祉職場への無料職業紹介の実施、潜在的な介護人材に対する相談等の支援など、介護・福祉に従事又は再従事しようとする者への就業援助等の充実
  - 働き盛り世代の地域コミュニティ活動への参加促進と活動の中核となる人材の育成
  - 働き盛り世代の消防団や防犯パトロール隊など、地域の防災活動、防犯活動等への参加促進
- など



## (3) 女性の意欲と能力が活かされる環境づくり

女性が、仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの意欲と希望に応じた形で展開できるとともに、個性を活かしながら、様々な分野でのチャレンジやキャリア形成が可能となる環境づくりを進め、女性の能力が最大限に発揮されるよう取り組みます。

### 施策の展開

- 女性の意識啓発や能力発揮に向けた各種講座の開催など、様々な分野における女性人材育成の支援
  - コミュニティビジネスへの融資のほか、農産品加工分野等での各種助成や研修など、様々な分野における女性の意欲的な起業活動に対する支援
  - 仕事と子育て両立支援推進員による一般事業主行動計画の策定及び取組みへの支援
  - 出産や子育てを機に離職した者に対する再就職支援や、事業主に対する再雇用制度の普及啓発
  - 家庭生活における性別による固定的役割分担意識の解消に向けた普及啓発の推進
  - 行政における審議会などへの女性の参画や、女性の管理職への登用の促進
  - 事業者・団体等に対する女性の登用・活躍促進に向けた働きかけ
  - ボランティア・NPO活動等に関する相談体制、各種研修の充実や情報提供など、女性の社会貢献活動の支援
- など







## 4 高齢者

### テーマ / エイジレス社会の実現に向けた活躍の場の拡大

「65歳以上は老人」という意識を転換し、様々な可能性を有する高齢者が、健康で生きがいを持って暮らし、その意欲と能力に応じて職場や地域において活躍するとともに、知識や経験、技能を次世代に継承することができる「エイジレス社会(生涯現役社会)」づくりを進めます。

#### (1) 元気な高齢者の就業・起業支援

働く意欲のある高齢者の就業・起業を支援することにより、元気な高齢者が社会の担い手の一員として活躍できる環境づくりを推進します。

##### 施策の展開

- 定年の引上げ、継続雇用制度の導入等による高齢者の安定した雇用の確保の推進
- 「とやま起業未来塾」等による、起業や新分野進出に積極的に挑む高齢者への支援
- 「とやまシニア専門人材バンク」の設置などによる高齢者人材の活用促進
- シルバー人材センターの活動への支援など、高齢者が就業し活躍できる環境づくりの推進など

#### (2) 高齢者の地域貢献活動の支援

高齢者の豊富な経験や知識を活かしたボランティア・NPO活動や身近な地域活動を支援することにより、高齢者の力が地域活性化に活かされる環境づくりを推進します。

##### 施策の展開

- 「65歳以上は老人」という意識の転換を図るための普及啓発
- 退職後の社会活動参加に向けた説明会の開催や高齢者が活躍する社会貢献活動に関する情報提供など、高齢者の社会活動への参加の促進
- 高齢者のボランティア・NPO活動への参加促進を図る講座の開催や、相談窓口の設置等による活動支援
- シニアタレント(一芸に秀でた高齢指導者)による社会貢献活動や自主防犯組織、自主防災組織等の活動促進のための支援
- 保育施設等でボランティア活動を実施できる高齢者人材の発掘など

#### (3) 高齢者の知識や経験、技能の継承

高齢者と子ども・若者など異世代との交流を促進し、高齢者が長年培った知識や経験、技能が失われることなく次世代に継承されるよう取り組みます。

##### 施策の展開

- ものづくり産業等における高度熟練技能者からの熟練技能の継承や後継者の育成
- 高齢者を講師とした体験教室の開催等による伝統工芸の伝承及び人材育成の支援
- 伝統行事や祭り等の伝統文化を子どもたちに伝承する活動への支援
- 民謡民舞大会の開催や文化財の保存修理を通じた、伝統芸能や伝統文化を保存継承する後継者の育成・確保など

## Ⅳ 人づくりにおける連携と役割分担

人づくりに係る政策が成果をあげるためには、県などの行政機関のみならず、家庭、学校、地域、企業、その他の団体・機関など、県民ぐるみでの幅広い連携と役割分担が必要となります。

### 1 子ども

子どもたちが、本県の将来を担う若者、大人に成長するための確かな基礎を築くにあたっては、家庭、学校、地域の教育力を結集し、県・市町村などの行政機関、企業やその他の団体・機関との連携のもと、子どもが健やかに育つ環境づくりを進める必要があります。

家庭には、子どもに基本的な生活習慣、善悪の判断、忍耐力などを身につけさせることが求められます。学校には、子どもに基礎的な学力を定着させながら、個性を引き出し、その能力を伸ばすとともに、創造性や自主・自律の精神を養い、社会性や規範意識などを身につけさせることが求められます。地域には、子どもが社会におけるルールや、周りの人との人間関係を築く力を身につけるにあたって、重要な役割を担うことが期待されます。

### 2 若者

若者の自立と成長を支援し、社会参加・社会貢献を促進するにあたっては、若者の精神的自立の促進に重要な役割を担う家庭、ボランティア団体、NPOなどと、就業支援など職業的自立の促進に重要な役割を担う国、県などの行政機関、専門的な人材育成機能を通じて若者の成長に寄与する大学・専修学校などが、企業や関係団体・機関と連携のうえ、それぞれの役割を十分に果たすことが求められます。

### 3 働き盛り

経済・産業の様々な分野の発展を中心となって支える人材が、持てる能力を最大限に発揮できる環境づくりにあたっては、企業をはじめ、経済団体や農林漁業団体など、それぞれの分野における指導的な団体が果たす役割が重要となります。

また、教育や子育て、まちづくり、介護や福祉、防災や防犯などの身近な分野でコミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材やリーダーの育成にあたっては、県、市町村などの行政機関とともに地域の果たす役割が重要となります。

さらに、社会の活性化に向けて、女性の意欲と能力を活かすことが必要ですが、そのためには、行政機関、家庭、地域に加え、企業がその役割を果たすことが不可欠です。

### 4 高齢者

元気な高齢者に、その意欲や能力に応じて、職場や地域において活躍してもらうためには、就業・起業支援や地域活動へのチャレンジなどを支援する国、県、市町村などの行政機関や、これを受け入れる企業や地域の果たす役割が重要です。

また、高齢者が長年培った技術や技能の次世代への継承にあたっては、それぞれの分野の企業や関係団体の果たす役割が大きくなります。

# 重要政策「人づくり」

## 社会状況の変化

### ■人口減少・少子高齢化の進展

- ・労働力の減少、消費需要の減少による経済活力の減退
- ・社会保障給付の増加、若い世代の負担増

### ■産業構造・雇用の変化

- ・終身雇用・年功序列など従来の雇用慣行の変化
- ・労働力需要の変化と労働市場のミスマッチ
- ・非正規雇用の増加
- ・企業などの人材育成機能の低下
- ・経済の低成長

### ■グローバル化の進展

- ・国際競争の激化、新興国の台頭
- ・ヒト・モノ・カネの流動化
- ・企業の採用活動のボーダレス化

### ■価値観の多様化、地域コミュニティの弱体化

- ・三世帯同居の減少、核家族、高齢者世帯の増加
- ・若者の未婚化、晩婚化の進行
- ・若年無業者（いわゆるニート）やフリーターの増加
- ・地域の間人関係の希薄化、コミュニティ機能の弱体化
- ・社会的モラルの低下

## 富山県の目指す人づくり

### ■一人ひとりが可能性を開花させ、輝いて生きる人づくり

自らの可能性を最大限に発揮しながら、いきいきと働き暮らし、活躍する人材の育成

### ■新たな価値の創造にチャレンジし、グローバル社会を生き抜くたくましい人づくり

国際的な視野に立ち、夢や目標を持って、新たな価値の創造に積極果敢に挑戦するたくましい人材の育成

### ■地域を支え、絆をつなぐ人づくり

ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にしながらコミュニティの再生や地域の活性化に活躍する人材の育成

## ライフステージごとのテーマと取組み

### 子ども

#### 「将来を担う人材の基礎づくり」

- ・優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成
- ・変化する社会に果敢にチャレンジし、困難にくじけない子どもの育成
- ・ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にする子どもの育成

### 若者

#### 「成長と自立、社会参加・社会貢献の促進」

- ・若者がたくましく成長するための支援
- ・若者の職業的自立の支援
- ・若者の社会の一員としての自立の促進

### 働き盛り

#### 「能力を発揮できる環境づくり」

- ・経済・産業の発展を支える人材が能力を発揮できる環境づくり
- ・コミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育つ環境づくり
- ・女性の意欲と能力が活かされる環境づくり

### 高齢者

#### 「エイジレス社会の実現に向けた活躍の場の拡大」

- ・元気な高齢者の就業・起業支援
- ・高齢者の地域貢献活動の支援
- ・高齢者の知識や経験、技能の継承

# 多彩な人材が育ち、活躍する富山県

## ～2020年代初頭の富山県民の姿(イメージ)～

「人づくり」に向けたライフステージごとの取組みの結果、様々な分野を支え、牽引する人が、「育ち」、「集い」、「活躍する」ことが期待されます。ここでは、期待される人材、人物像の具体的な例として、2020年代初頭に、それぞれの分野において活躍する県民の姿について紹介します。



### 1 「ものづくり」分野

#### 製造業の技能者Aさんの場合

高校(ものづくり中核校)在学時の、ものづくり現場体験や県内企業の技能者による技能指導に触発され、県内のものづくり企業に就職、「若手技能者やる気塾」の受講など基礎的能力の取得、技能の研さんに励む。現在は、「とやまの名匠」が講師を務める「とやま技能継承塾」で実技指導を受け、次世代を担う中堅技能者としてさらに技能に磨きをかけている。

#### 先端ものづくり産業の研究・開発担当者Bさんの場合

高校在学時は、探究科学科に在籍し、科学に対する関心を高め、「とやま科学オリンピック」にも参加。県内大学に進学し、長期インターンシップも体験。大学卒業後は、県内のものづくり企業に就職し、医薬分野と連携した最先端医療機器の開発に従事。現在は、将来の研究開発の中心を担う人材として、ものづくり研究開発センターの最新鋭設備を活用し、世界の一流研究者とも交流しながら、ナノテクノロジーを活用した研究開発を推進。

#### 金属部品製造会社経営者Cさんの場合

高校卒業後県外の大学に進学、大学卒業後は家業である金属部品製造会社の経営に参画するため帰郷。学生時代から温めていたアイデアを活かし新商品の開発を企画、技術的な問題が生じ開発をいったんは断念しかけたが、県の工業技術センターの研究者の助言をきっかけに問題を解決、さらに新技術に関する知的財産権の保護から販路開拓にいたるまで総合的な支援を受けヒット商品に育てた。

今年から、海外販路を求めて中国に工場を立ち上げ、汎用品は海外工場で生産する一方、中核技術を用いるマザー工場は県内に置く体制を敷いている。富山空港から週に一度のペースで中国に向かうなど忙しい日々を送っている。

## 2 「商業・サービス業」分野

### 中心商店街商店主Dさんの場合

高校在学時は都会へのあこがれが強く、在京の大学に進学。大学卒業後も東京で就職していたが、北陸新幹線開業をビジネスチャンスととらえ、Uターンして家業の商店を継ぐ。店舗の効率的・戦略的な運営のためIT化等に取り組むとともに、「とやま起業未来塾」で新たな事業展開のノウハウを学び、中心商店街に観光客を呼び込む新ビジネスを立ち上げ。また、商店街の活性化に向けて、商工団体等の支援も受けながら、集客イベントや歴史・文化、まち並みなどを活かした賑わいづくりや一人暮らし高齢者への宅配サービスなどに商店街をあげて取り組んでいる。

## 3 「農林水産業」分野

### 担い手農業者Eさんの場合

高校卒業後、専業農家の後継者として就農。地域からの厚い信頼を得て順調に規模を拡大して4年後には法人化。現在、経営面積は60haで、安全な農産物を提供するのはもちろん、低農薬など環境保全にも配慮した生産活動を目指しており、富山県適正農業規範に基づく農業を実践している。また、複合経営にも積極的で、県の補助制度も活用して必要な機械を導入、転作水田における園芸新作物の栽培に取り組んでいる。さらに、近隣の食品関連企業やスーパーとタイアップし、経営の多角化を推進、共同して開発した新たな特産品は、明日のとやまブランドに認定。今後は、とやまブランドへの認定を目指すとともに、全国展開、さらには世界も視野に入れた展開へと夢は膨らんでいる。

### 女性農業者Fさんの場合

従来は夫婦二人で水田経営を行っていたが、近隣集落が共同で設立した集落営農法人に参加。夫は同法人の中核メンバーとして活躍しているが、自身は農作業に拘束される時間が以前より減ったことから近隣農家の女性と共同で野菜の直売施設を運営。新鮮で生産者の顔が見える低価格の野菜を販売し、多数の消費者に歓迎されている。また、女性ならではの漬物や惣菜などの商品をそろえており、今後は、県の女性農業者支援制度を活用し、メンバーが増えた女性グループで新たな商品開発と販路拡大、さらにはレストラン経営にもチャレンジしようと意気込んでいる。

### 定年後新規就農者Gさんの場合

県内企業を定年退職後、就農を志し新規就農相談センターに相談、紹介された農業法人での研修を経て、現在は、自ら小規模な水田と畑を経営。規模拡大は志向していないが、環境にやさしい農業を目指してエコファーマーの認定を受け、消費者と直接インターネットで取引するなど顔が見える農業を実践。収穫した米・野菜は、車で20分の距離に住む息子家族にも分けており、特に野菜嫌いだった小学生の孫が近頃野菜をよく食べるようになったことをとても喜んでいる。

## 小児科医Hさんの場合

病気で入院した高校生の時に真摯で熱意のある主治医に接し、将来は医師になることを決意。大学受験は、推薦入試「地域枠」で地元大学の医学部医学科に合格し、不足する小児科医として地域医療にたずさわりたいことを志望。県の修学資金の貸与も受けながら、見事国家試験をパス。卒業後は、県内公的病院において臨床研修を修了後、しばらく勤務。その後、結婚、出産・育児による休業を経て、現在は、同病院の院内保育施設に子どもを預けながら勤務している。新生児や妊婦に対する集中治療室（NICU、MFIU）のある県立中央病院や総合リハビリテーション病院内のこども医療福祉センターとも連携しながら、病気やけがと闘う子どもたちの回復に努めている。

## 介護福祉士Iさんの場合

高校在学時の介護体験学習をきっかけに介護職を志す。県の修学資金を活用して専門学校に進学し、介護の勉強に励むかたわら、地域のケアネット活動にボランティアとして参加。専門学校卒業後、福祉職場説明会を通じて、介護福祉士としてデイサービスセンターに勤務。勧められて受講した県福祉カレッジの起業家育成講座に触発され、同僚と共同でとやま型デイサービス施設の起業を検討中。県の助成制度を活用しながら、空き家を改修して、来年には事業をスタートさせたいと考えている。



## 伝統工芸士Jさんの場合

高校在学時にデザインや制作技法など金属工芸の基礎を学ぶ。卒業後は高校の実習で就業体験した銅器製作所に就職し、先輩社員の指導を受けながら金工作品の技術を磨いた。30歳の時に自由な創作を求め自ら作品を制作する会社を起業すると同時に、多数の先達、名工に学び、県展に初出品した作品が入選。40歳で伝統工芸士に認定され、日本伝統工芸展での受賞を重ね、60歳となった現在では、人間国宝の認定も期待されている。数多くの後進の指導にあたりるとともに、小中学生を対象とした体験学習の講師を務めるほか、美術館や博物館の企画展の相談に応じるなど、伝統工芸の普及、継承にも尽力している。



## 6 「スポーツ」分野

### 陸上競技のトップ選手Kさんの場合

地域のスポーツクラブに所属していたジュニア期に未来のアスリートとして才能を見いだされる。その後、全国的に著名なコーチの指導を受けるなど、競技団体の一貫指導体制のもと、レベルアップを図り、中学、高校時代は県選抜選手として、国体等の全国大会に出場。大学では、箱根駅伝で活躍。卒業後は、県内企業に勤めながら、県総合体育センターで医・科学的トレーニングに励むなど、競技力向上に努めた。さらに、県民スポーツ応援団募金を活用した支援などにより、国内外での強化合宿や大会に積極的に参加し、国内トップクラスの選手として次期オリンピックへの出場を目指している。

## 7 「社会貢献」分野

### 社会貢献活動を行うLさんの場合

中学生の時に学校で実施された、ボランティアの大切さを伝える講演会や高齢者福祉施設を訪問しての体験学習を通じてボランティア活動に興味を持った。大学生の時はボランティアサークルに所属、外国人留学生を地元の学童保育施設に案内し、餅つきやひな祭りでの子供達との交流を通じて日本文化を体験してもらう活動などに取り組んだ。

現在は、主婦として子育て中であるが、まちづくりのNPO活動をしている友達に誘われ、地域での児童イベントの開催協力や地域の隠れた伝統・祭り・味覚・建造物などの魅力を掲載したマップ作りなどに取り組んでおり、社会貢献活動を行う仲間の輪が広がっていくのを楽しんでいる。



# 各ステージでの人づくり (イメージ図)

～多様な人生設計が可能に！～

